

## 先週末の部活動、報告

上記の他にも、バドミントン部（男子）が個人戦で出場し、テニス部（男子）は団体・個人で出場しています。創部以来初の県大会出場をはたし、個人戦でもベスト8に輝いた柔道部（団体・個人）など、躍動がみられた今年のインターハイ予選でした。

### インターハイ予選、終わる！各部活動の激闘を報告!!

5月をもって、インターハイ（総合体育大会）の愛知県予選が終了しました。運動部にとって、この大会で活躍することは大きな目標の一つです。その結果が出そろいましたので、ご覧下さい。

インターハイ出場の2つの部活動（卓球・女子テニス）に加え、バスケットボール部（女子）が決勝リーグまで勝ち残り、1勝2敗で同率2位につけるものの、得失点差で惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが。しかし、あの残り7秒での逆転劇は、全ての観客を熱狂させたのではないのでしょうか。

テニス部・卓球部に加え、陸上部（1500m、3000m障害）は、全国大会の前に行われる東海大会に出場します。その東海大会の結果に、陸上部の全国大会出場がかかっています。どの部活動も満足いく大会になるよう、応援しましょう。



### インターハイ （全国大会） 出場決定！

#### 卓球部

- ・シングル（後藤）・ダブルス（後藤・稲吉）
- ・団体

#### テニス部（女子）

- ・シングル（宮田）・ダブルス（宮田・山本）



## 「ヤングサポーターみずほ」意見交換会に参加してきました。

6月1日(月)の授業後、瑞穂区役所で行われた「ヤングサポーターみずほ」意見交換会に参加してきました。「ヤングサポーターみずほ」とは、瑞穂区にある7つの高校が力を合わせて、より安心・安全で快適な瑞穂区をつくってほしいというものです。交通安全キャンペーンや清掃活動、区民祭りへの参加、「夏の青少年をまもる運動」街頭キャンペーン、「広報なごや」への掲載など、活動は多彩です。この日は本校の他、名女大高校、瑞穂高校の生徒・先生が参加して、活発な意見交換をすることができました。高蔵の皆さんが、**ている瑞穂区。より良い街にしましょう。**



多くの時間を過ごし  
お手伝いをしていき

ご存じですか？

6月1日から「自転車運転者講習制度」  
がスタートです！

「ヤングサポーターみずほ」の中でも話題になりましたが、6月1日より、**自転車運転中に危険なルール違反を繰り返すと、自転車運転者講習を受けること**になりました。危険なルール違反とは、「**信号無視**」「**一時不停止**」「**酒酔い運転**」「**ブレーキ不良自転車運転**」など14類型にわかれるほど、たくさんあります。生徒の皆さんに多いのは、**スマートフォンを使いながらの運転など**でしょうか。これも「安全運転の義務を果たしていない危険行為」となります。もしこれらの行為を、**3年以内に2回以上繰り返した場合、都道府県公安委員会が講習を受けるように命令し、3時間の講習**を受けることとなります。もちろん、**講習手数料5700円**も自分で支払います。

瑞穂区は、高校が多いため自転車通学者も多い区です。みなさんが、自転車マナーの見本となれるよう、毎日の運転を意識してみてください。

## 沖縄で、戦争について学びました。

今年は戦後70年。新聞でもニュースでも学校でも、様々なところで、このことを目にしませんか。そんな中、本校生徒6名が、戦時中に大きな被害を受けた場所である沖縄へ行き、多くのことを学んできました。その感想を紹介します。

想いが強くなる出来事がありました。それはチビチリガマです。チビチリガマは70年前に集団自決がされたガマです。そこへ行って話を聞いたとき、胸が痛くて息ができませんでした。「私は大好きな人に死んで欲しくないなあ、ましてや殺すなんて...」って思っていました。でも話を聞いて自分に置き換えて考えた時に集団自決をした理由がようやく実感としてわかりました。話を聞く前は「大切な人が残酷で苦しい殺し方をされるくらいなら私が、」ってなんとなく想像はできていたけど、本当に当時の状況や想いを理解できた時、本気で心臓がつぶれるかと思いました。自分が愛しくてたまらない人を殺すのは死ぬよりももっとずっと苦しいんじゃないかと思う。自分の家族に手をかけたけど、自分は死ねなかった人がいる。というのを聞いてものすごくたまらなく辛くなりました。「その人はどんな想いで今生きているのか」と想像しただけでやるせなさをもものすごく感じました。こんなのもう絶対起きたらダメだと思う。

そして私が印象に残ったのは、沖縄県平和祈念公園の沖縄戦で亡くなった方の慰霊碑です。慰霊碑には亡くなった方一人一人のお名前が書いてありました。よく見ると日本人だけじゃなくてたくさんのアメリカとか朝鮮の人の名前も書いてありました。日本人と他国の人が合わせて20万人の名前が書いてありました。私は「沖縄戦でたくさんの沖縄県民が苦しんだ。可哀想、戦争なんてなかったらこんなことにならなかったのに」と思っていたけど、慰霊碑をみて考え方が変わりました。沖縄戦で苦しんだのは沖縄県民、日本兵、アメリカ兵、みんなだった。アメリカ兵は故郷に帰ることなく死んだ。そう思うと今まで私の視野は狭かったです。「みんな殺し合いたいわけじゃない 幸せに生きていきたい」この想いは国籍とかは関係なくみんな一緒だっていう大切なところに改めて気づけました。

喋るのが苦手だけどこの沖縄に行って初めて知れたことを、これから全力で伝えたいです。沖縄の子が言っていたように「自分が話すことで、変わる気持ちがある。変わる未来がある。」そう信じて愛知から高蔵から自分から発信したいって思いました。

